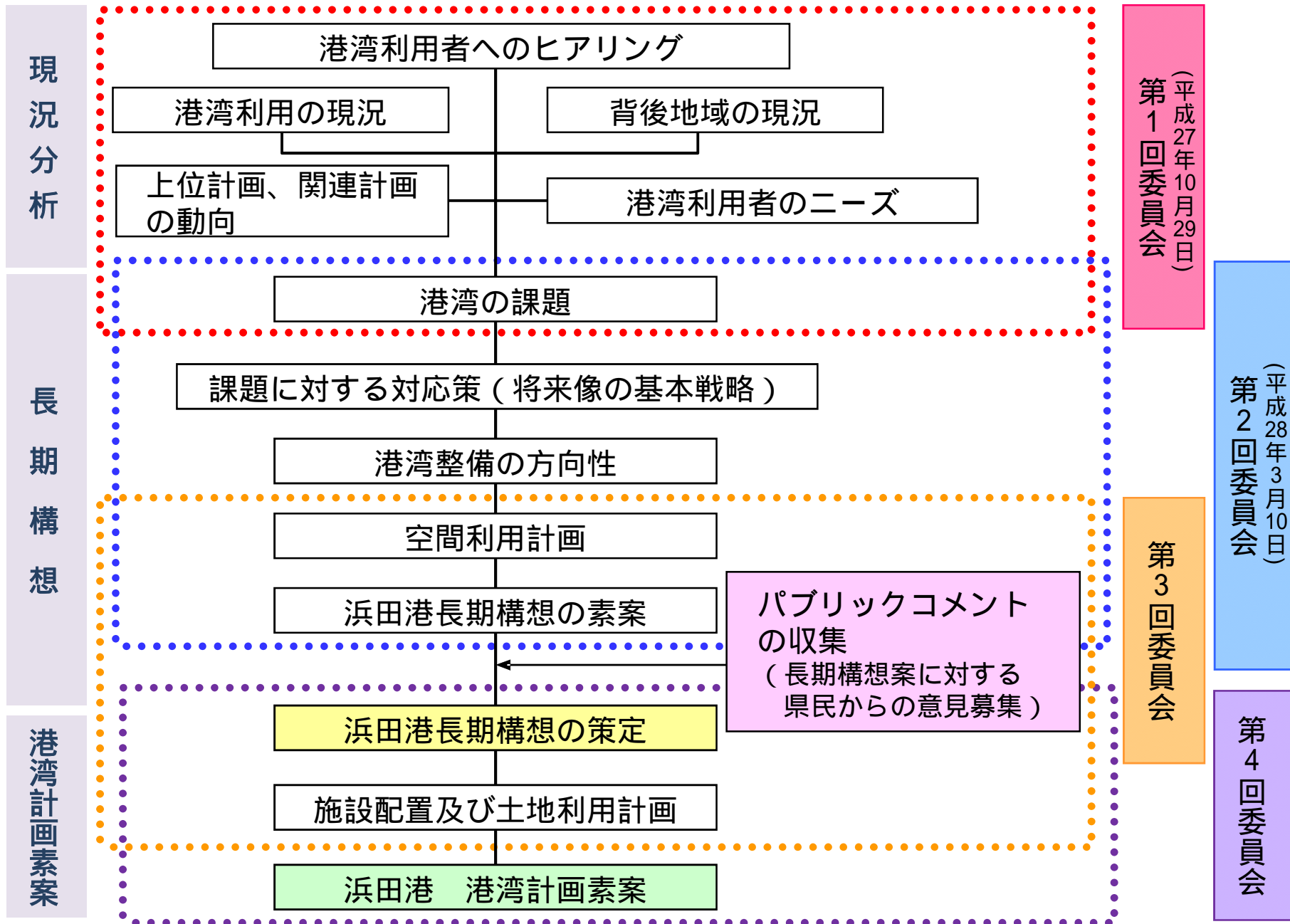


浜田港長期構想検討委員会 第2回委員会(付属資料)

平成28年3月10日

An aerial photograph showing the Hamada Port area. The port is a large, semi-circular harbor with several piers and breakwaters extending into the blue water. The surrounding land is a mix of green forested hills and a residential or industrial area with buildings and roads. The date '平成28年3月10日' is overlaid in blue text at the bottom of the image.



第1回委員会での主な意見と対応

	意見	対応
物流	大型船に対応した岸壁の水深確保、埠頭用地の拡張が必要	戦略1,2(係留機能強化,新規需要)
	PKS、木材チップの保管場所確保に早期に対応するため、長浜地区で暫定利用の対応が必要	戦略2(新規需要)
	浜田港内および周辺とのアクセス強化・改善が必要 (福井地区～長浜地区間の接続強化、長浜埠頭から山陰道へのアプローチの確保、工業団地からのアクセス道路の改善)	戦略2(アクセス機能向上)
	浜田市は水産業が盛んであるが、水産関連貨物の浜田港利用を促進するためには、保税冷凍冷蔵庫等の設備面の充実が必要	戦略1(保管機能の充実)
	ロシア貿易は有望であるが、利用しやすい施設利用料等の条件設定や、鮮度を維持できる施設等の設備面の充実が必要	戦略1(保管機能の充実)
	荷役の作業効率化を図るため、多目的クレーンからガントリークレーンへの更新が必要	戦略1(保管機能の充実)
	LCL貨物(小口混載貨物)サービスの拡充が必要	戦略1(集貨対策の推進)
	ポートセールスの強化を図るには、人材の確保・育成、各主体間での情報共有が必要	戦略1(集貨対策の推進)
	倉庫利用の需要に対応した保管施設の整備が必要(倉庫の増設、冷凍・冷蔵施設の整備)	戦略1(保管機能の充実)
交流	大型外国客船の誘致のためにも、岸壁の水深確保と拡張が必要	戦略1(係留機能の強化)
	「みなとオアシス」など、港の賑わいへの対応も必要	戦略3(受入環境の充実)
その他	利用企業に対するきめ細かなケアや、ニーズ調査が必要	戦略1(集貨対策の推進)
	長期構想ではスケジュールにとらわれず、必要な事項を洗い出すことが必要	-

トピックス(1)

浜田港集貨対策協議会（仮称）について

設立・取組の目的

発展著しい北東アジアに近い「浜田港」の強みを生かして、以下の5つの課題について**広域的な産官学金が連携**して取り組むことを目的とする。

- 国内定期航路の新設（海上輸送網ミッシングリンクの解消）
- 国際定期コンテナ船（釜山港：週1便）の利用促進
- 国際定期RORO船（ウラジオストク港：月2便）の利用促進
- 国内・国際物流の接続による新たな物流ルートの確立
- 国内・国際バルク貨物の取扱量の拡大



取組スケジュール

赤字：本協議会関連の取組

年度	取組内容
平成27年度	浜田港内貿航路需要調査(H27.8～H28.3)
	浜田港長期構想検討委員会(第1回：H27.10.29)
	〃 (第2回：H28.3.10開催予定)
平成28年4月	浜田港集貨対策協議会(仮称)設立予定
平成28年度	浜田港長期構想検討委員会(第3回：H28.9月、第4回：H29.1月開催予定)
平成29年度	国内航路定期化に向けた試験運航 (H29～H31の3年間 H32～定期便就航を目指す：境港と同時期)

トピックス(1)

浜田港集貨対策協議会（仮称）について

取組体制

浜田港集貨対策協議会(仮称)		
協議会メンバー	有識者	島根県立大学 山陰経済経営研究所
	経済関係団体	各商工会議所 日本貿易振興機構 経済同友会、中小企業家同友会
	農業及び 漁業関係者	J A J F
	運送関係者	浜田トラック事業協同組合
	金融機関	(株)山陰合同銀行、日本海信用金庫、 (株)日本政策金融公庫
	行政機関	浜田市、益田市、江津市、大田市、 川本町、邑南町、美郷町、津和野町、 吉賀町、出雲市、広島県北部市町
	港湾利用企業	浜田港・三隅港利用促進協議会メンバー
	浜田港振興会	
	オブザーバー	国土交通省境港湾・空港整備事務所 神戸税関浜田税関支署 島根県企業立地課 島根県産業振興課
事務局	島根県商工労働部貿易促進支援室 土木部港湾空港課	

集貨対策ワーキンググループ (国内・国際物流)	
行政	県西部9市町、出雲市
荷役企業	・島根合板(株) ・日本製紙(株)ケミカ江津事業所 ・(株)LIB ・(株)テライ ・石央リサイクルセンター ・石州瓦工業組合 他
船舶代理店 等	浜田港運(株)、日本通運(株) 運賃・荷役等
その他	浜田港振興会 インセンティブ等
島根県施策 担当課	企業立地課 産業振興課
事務局	浜田市 貿易促進支援室 浜田港湾振興センター

トピックス(2)

みなとオアシス制度について

「みなとオアシス」とは

海浜・旅客ターミナル・広場など「みなと」の施設やスペースを活用した地域交流拠点に対し、地方整備局長が認定登録を行い、様々な支援により、「みなと」を地域の方々や観光客など多くの人が気軽に立ち寄り交流する憩いの場、いわゆる「オアシス」として活用するものです。

地域のニーズを反映し、構想段階から運営・維持管理段階まで、住民の皆さんに参加していただきながら創り上げていくことが大きな特色

概要

みなとオアシス制度 平成15年度に中国・四国地方整備局が制度創設
オアシス数 中国管内15港（本登録：13、仮登録：2）
全国では90港（本登録：86、仮登録：4）
中国みなとオアシス協議会事務局 中国地方整備局 港湾空港部

中国地方のみなとオアシス(15港)

【平成27年7月18日現在】



メリット・効果

国土交通省、地方整備局のホームページでの広域広報によるPRが可能
普段は多くの来訪者が集う場所が、みなとオアシスを舞台として定期的に防災訓練を行うことにより、防災意識の向上や、みなとオアシスの防災的な役割が認知・浸透される

災害時に利活用可能な施設(情報機能等)や空間(公園・駐車場等)を有しており、平時には多くの地域住民、観光客が利用していることから、防災機能を有していることを認知してもらいやすい環境にある



Sea級グルメ全国大会の様子

トピックス(2)

「みなとオアシス浜田」について

「みなとオアシス浜田」の概要	
名称	みなとオアシス浜田
活用する 港湾施設	浜田ポートセンター しまねお魚センター サンマリンはまだ海岸付近公園 緑地（福井、長浜） 福井埠頭3号岸壁
提供する サービス	交流スペース トイレ物産品販売 情報提供 会議室 駐車場
運営主体	みなとオアシス浜田運営協議会
管理体制	設置者 浜田市長



「みなとオアシス浜田」全体エリア図

漁港と一体となったエリアとして登録しました
(H28.2.27登録)

「みなとオアシス浜田」を活用したイベント



トピックス(3)

浜田港に新荷役クレーン整備

- ・島根県は、H28年度に釜山港との定期コンテナ船の大型化に対応するため、ガントリークレーンの整備に着手する予定
- ・H28年度～H29年度の2年間をかけて整備する計画

H28.1.29山陰中央新報 関連記事あり

「浜田の食」タイへの輸出調査・商談加速

- ・浜田市が、タイの首都バンコクでの地場産品(農水産加工品など)の輸出、販売の拡大へ向けた、市場調査を開始(H28.2)
- ・市場調査は、島根県がバンコクに開所した「島根・ビジネスサポートオフィス」と連携して実施
- ・現地ニーズを踏まえ、輸出に向けた地元商品の発掘や改良を進めていく

H28.2.1山陰中央新報 関連記事あり

H28.4 山陰版DMOが発足

- ・外国人観光客らの誘致を進めるための「山陰版DMO」を、島根、鳥取両県が共同で立ち上げる
- ・両県のほか、民間企業(航空、鉄道、旅行会社)、金融機関、経済団体などで構成し、4/22に設立する予定
- ・常勤の代表理事に「福井善朗」氏を起用(元近畿日本ツーリスト地域振興部長)
- ・非常勤の会長に「田川博巳」氏を任命(JTB会長、鳥取県政顧問)

DMO(Destination Marketing/Management Organizationの略)
地域全体の観光マネジメントを一本化する、着地型観光のプラットフォーム組織を指す
【参考】日本版DMO(観光庁HPより)
地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人

H28.2.18山陰中央新報 関連記事あり

トピックス(3)

浜田港 ロシア輸出への支援拡大

- ・官民でつくる「ロシア貿易発展プロジェクト実行委員会(委員長:岩谷浜田商工会議所会頭)」が、ロシア向けRORO航路の維持に向けた緊急支援の実施を決定
- ・H28.3までの暫定措置として、浜田港までの国内陸送費の一部を補助
(中古車1台あたり1万円)

H28.2.29山陰中央新報 関連記事あり

浜田・瀬戸ヶ島 水産拠点化へ向けた本格調査に着手

- ・浜田市が、遊休化している浜田漁港瀬戸ヶ島地区での畜養や養殖などの水産事業の実現に向けた本格的な調査にH28年度より着手
 - H27年度の予備調査で、原魚調達から輸出までを行う事業展開の可能性が見込めるとの結果
 - 中間報告での意見
 - 国際貿易港の浜田港や中国横断自動車道に近く、国内外への展開が期待できる
 - 畜養、養殖に適した港湾が整備されている
 - 年間を通して海水温が比較的温暖
- ・民間事業者の投資を前提に採算性の高いビジネスモデルを目指し、水産業の活性化につなげる
- ・今後のスケジュール(案)
 - H28年度 本格調査に着手
 - H29年度 経営体の形成
 - H30年度 工事着工
 - H32年度 工場本格稼働

H28.3.4山陰中央新報 関連記事あり